



例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 斎藤 章
- 幹事 井辺 一章
- 会報委員長 伊藤 松寿
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F



「2012 HAPPY NEW YEAR」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

ミニエー銃

▼長州藩、軍制改革を実行、ミニエー銃を装備する

1865 (慶應元) 年5月15日、将軍家茂は江戸を進發した。長州藩は

「禁門の変」の責任をとって、3人の家老を差し出したが、幕府は長州つぶしを本気で考えていた。その割には、家茂の一行はゆっくり進んだ。この年は閏月があり、家茂が大坂城に入ったのは閏5月の25日にもなった。

NHKの「篤姫」でも、和宮との別れなどで涙を誘ったが、旗本、御家人も大騒ぎだった。とうとう、自分たちも本物の戦争に出るかも知れない。このあたりの当事者たちの慌てぶりや、戦備についての混乱は、いろいろな話に残っている。

毛利家は10万石の領土削減、藩主父子の塾居(ちつきよ)が幕府の要求である。幕府の目論見では長州はこれを呑み、幕府の威光は高まるはずだったが、そうはいかなかった。長州藩では、あの奇兵隊で有名な高杉晋作を中心に、討幕派、そして軍制改革派が主流になっていたのだ。

1866 (慶應2) 年の1月21日には、すでに薩長の密約ができていた。4月15日には薩摩藩が出兵を拒んできた。5月29日には回答の期限を無視して、詰問に派遣した使者も斬ってしまう。いよいよ、幕府軍も実力を行使することになった。こうして6月7日の周防(すおう)大島の戦いが始まった。

ところで、長州藩は、すっかりミニエー銃の威力にしびれてしまった。すでに「外国軍艦下関事件」や「禁門の変」でも、外国軍や薩摩軍の前装式ライフル銃の威力は身をもって味わったところである。

すでに長州藩へ米穀や武器・兵器・弾薬を売ることについては、すでに前年8月に幕府から禁令が出ていた。外国商人も、近隣の諸藩も、さすがに「朝敵」にそれらの物資を売るわけにはいかなかった。そこで、裏で活躍したのは、伊藤俊介こと博文と、井上聞多こと馨の、のちに維新の元老になる2人だった。もちろん、坂本龍馬もこれにからんでいる。薩摩藩が買うことにして、長崎のグラバー商会からミニエー銃を大量購入したのだった。

8月26日、三田尻と下関に陸揚げされたのは、ミニエー銃4300挺、ゲバール銃3000挺といわれる。『防長回天史』によれば、代金はミニエー1挺あたり18両、ゲバール同5両だったという。1両25万円な

らミニエーは450万円、ゲバールは125万円。ただし、この価格は、庶民からみた生活感覚上の話である。(ミニエー銃:193億、ゲバール銃:37億)

現在では、高価で知られる陸上自衛隊の制式小銃が30万円らしい。それよりだいぶ高い。アメリカや韓国の使うM16小銃が5~6万円というから、それから見ても450万円とは、現代の軽機関銃なみである。

とはいえ、新選組の幹部などは、大名道具といわれた1腰100両あまりの刀を持っていたという。2500万円である。いまも、フェラーリとか、ベンツとか、ベンツなどという名車に1000万円や2000万円を使う人も珍しくはない。それからすれば、鉄砲という人の生命を預け、国家の命運を握る道具である。1挺に当時の庶民の年収分くらいかけてもおかしくはないだろう。

ゲバールも買っているところを見ると、いわゆるハイ・ローミックス(高級装備と低い装備を用途に応じて使い分けること)だろうか。先にあげた史料には、追加書きがあって、『領内の豪農などから購入申し込みがある』とされている。豪農からの希望とは、地域防衛用の「民兵」への交付用かも知れない。

とにかく、長州藩は全軍、ミニエー銃で装備することにした。1865 (慶應元) 年1月には、鎧・兜、火縄銃などを売り払って、ミニエー銃を年賦で買うようにと、藩政府からおふれが出る。閏5月には学校までつくられて、洋式銃の戦闘法、小隊の指揮法なども教えられた。

なお、アメリカの南北戦争は、1865年に終わった。4月9日、南軍のリー将軍が、北軍のグラント将軍と会見し、降伏文書に調印した。これ以後、わが国には、大量の中古兵器が流れこんでくる。

「1分間に3発」、これが1861年式エンフィールド・ライフルを渡された北軍兵士に要求された能力である。日本ではなまって、エンフィールド銃といわれたが、これが大量に使われるようになったのは、余った兵器が低価格で輸入されるようになったからである。

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33名	12名	45名	45名	100.00%
本日	37名	-	37名	45名	82.22%

例会報告

<幹事報告>

◎ガバナーエレクトより

- ・国際協議会より次年度R Iテーマ決定のご報告

2012-2013 年度国際ロータリーのテーマ

「Peace through Service」奉仕を通じて平和を



◎地区代表幹事より

- ・ロータリーカード広報チラシ

日本のロータリーカードのロイヤリティ0.3%は、(2012.12.31 まで)ポリオ撲滅資金でなく東日本復興資金となります

◎はぐるま会会長より

第168回はぐるま会開催のご案内

日時 2月28日(火) 10:30 スタート (高山出発7:30 予定)

場所 関カントリークラブ東コース

会費 8,000円

締切 2月17日(金)

<例会変更>

可児 … 2月9日(木)は、施設見学のため
27日(月)、日本原子力研究開発機構
「瑞浪超深地層研究所」に変更

<受贈誌>

台北市松年福祉会(玉蘭荘だより)

<本日のプログラム> クラブアッセンブリー

出席・プログラム副委員長

小林 勝一

本日、委員長の垂井さん欠席の為、副委員長の小林が報告いたします。

今年度上半期の例会、計24回分の補正無しの純出席率は

84.21%・補正後の出席率は 92.93%とまずまずの出席率でした。しかし、前期の後半11月以降 72%前後と急激に落ち込んでおります。それぞれに何かとお忙しい皆様ですが、下半期の出席率向上に御協力よろしくお願ひ致します。

また、今年度のプログラムは会長の御意向により、会員スピーチを多く入れさせて頂いておりますが、それぞれに大変有意義なお話を聞かせて頂き有難うございました。

下半期も、極力会員スピーチを取り入れて行きたいと思っております、どうか御協力のほど宜しくお願ひいたします。



社会奉仕・ヘルス委員長

田中 武

委員長には私、田中 武、副委員長には、内田幸洋さん、委員さんには、野戸守さん、菱川正臣さん以上四名で御座います。



基本方針

- ・ロータリークラブと社会奉仕との関わりに付いて理解を深め実践する。ロータリー会員の**健康増進**を図る (ヘルス)

計画に付いて

1、加入団体の会費について

- ・高山市民憲章推進虚偽会に10,000円
- ・高山市社会奉仕協議会に5,000円

2、ソフトミニバレー大会に付いて

- ・第56回大会に50,000円、8月28日(日)ビッグアリーナにて行われ、斉藤会長・伊藤松寿会報委員長と私三名で出席させて頂きました。

- ・第57回大会に50,000円 3月11日(日)9:00~ビッグアリーナにて行われます。前回同様、斉藤会長・伊藤松寿会報委員長・私田中が出席させて頂きます。尚、前回は我がロータリーチームが選手不足・練習不足等、で残念ながら参加出来ませんでした。今回は門前キャプテンがこんな事ではロータリーの名がすたると言う事で非常に頑張ってくれています。個々には参加を呼びかけ、特に新入会員さんにも声掛けして有ります。門前キャプテンが再度お願ひに回りますがご協力を宜しくお願ひ致します。今のところ申し込みが殺到しておりますので早く申し込み願ひます(申込期間が1/15~2/13)。年齢制限は御座いません、皆で体を鍛え健康な体づくりをしたいと思ひます (**健康増進**) 出来ない方は是非応援を宜しくお願ひ致します。

3、ゲストスピーチ

- ・ヘルス委員会として2月24日 田近さんの紹介で(高山訪問看護ステーション統括所長 野崎加世子様)にお願ひして有りますので宜しくお願ひ致します。
- ・5月25日 葛谷さんにお願ひして有りますが演題は検討中で御座いますので宜しくお願ひ致します。

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

国際奉仕委員長

門前 庄次郎

上半期は8月のインターアクト年次大会の折に、桑山紀彦さんの「地球のステージ」の夜の部をお手伝いさせていただきました。



また、基本方針の中に、青少年交換留学生の意義を今一度考え、理解を深める。と言う思いを入れましたが、2月17日の担当例会に、2630 地区国際青少年交換副委員長の向井龍三様にご来訪頂き、地区の交換留学生の状況は現在どの様になっているか、また実際に留学生を受け入れられて居られますので、その辺のお話をお伺い出来ればと思っています。

当クラブも10年ほど前まで、「交換留学生」事業を行っており、12名ずつ派遣また受け入れをしています。現在は対象の高校生もメンバーの中に居らず、事業自体が行われていませんが、最近若い方が新入会員として入って来て見えますので、その方たちのご子息等を対象に、また事業が再開される道筋が少しでも見えて来るといいなと思っています。

環境保全委員長

鴻野 幸泰

委員長の鴻野です。副委員長は小林勝一さん、委員には田中正躬さん、平義孝さん、村瀬勝彦さんです。基本方針は「環境保全の意義を沢山の皆さんに知っていただく」です。



活動計画は去年の10月30日に「森林・川など自然環境を保全する活動」といたしまして宇津江四十八滝公園にて清掃活動および森林インストラクターの大坪さんに案内をしていただき、森林について学びました。参加者は約40人で、その内20人は飛騨高山高校インターアクトクラブの部員の皆さんでした。

11月18日の例会時にはゲストスピーチとして、森林たくみ塾本部長 小木曾賢一様に「飛越源流の森づくり」についての卓話をいただきました。

青少年育成委員長

遠藤 隆浩

上半期の活動を報告します。9月に高山あすなる会・小中学校木工コンクール、



12月に高山市スポーツ少年団にそれぞれ協賛金を出させていただきました。また地球のステージにも協力させていただきました。

9月の担当例会においては飛騨子ども相談センターの児童福祉司兼家庭支援課長、中切智子さんに今社会問題になっている児童虐待について地元の現状を話していただきました。

下半期は例年のように義務教育課程9ヶ年皆出席表彰を行います。よろしくお祈りします。

インターアクト委員長

寺田 昌平

7月6日18:30~鳩谷にて、高山地区IAC懇親会を開催。斐太高校大家校長・顧問の長尾先生、飛騨高山高校 顧問荒川先生、高山・西の両ロータリー会長およびIA委員長、地区IA委員の計11名が参加し懇談を行いました。



7月8日(金)の例会時、7月24~28日の日程で韓国派遣の決定した飛騨高山高校IAC部長 松原有希さんに、斎藤会長より激励金を贈呈しました。

8月9日(火)、国際ロータリー第2630地区第34回インターアクト年次大会を飛騨世界生活文化センターにおいて、当クラブスポンサーにて開催。当初2日間の日程で計画されておりましたが、宿泊施設としていた国立乗鞍青年の家が東日本大震災・福島原発災害の避難先として指定され、急遽やむなく計画変更となりました。実行委員長の田近さんや副委員長河渡さん、また飛騨高山高校の顧問、荒川先生中島先生はもちろん、伊藤さんや鍋島さんには韓国ロータリアンや高校生の出迎えから見送りまで丸4日間と、沢山の会員の皆様にご協力をいただきました。

また当日夜19:00~21:00、年次大会会場の飛騨高山世界生活文化センターにて桑山紀彦氏の「地球のステージ6 & 震災特別編 in 飛騨高山」を、主催 高山西ロータリークラブ、共催に高山市社会福祉協議会・高山信用金庫・平和メディック(株)、後援に高山市として開催し、予算より協力を支出しました。

9月19日(月・祝)、下呂にて飛騨地区合同研修会が行われ、会

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

長・幹事・副委員長の蜘蛛さんと飛騨高山高校の荒川先生およびIAC部員の皆さん総勢16名に出席していただきました。こちらは本来、飛騨高山高校および西ロータリーにて行うものでしたが、今年度地区年次大会の担当であったため、益田清風高校および下呂ロータリーに主催を代わっていただいたものです。来年度は当クラブが幹事クラブとして開催の予定です。

下期では5月に教師部会が行われ、顧問の先生と来年度の委員長の2名にて出席予定です。

当初予算より10万円程余剰を見込んでおります。年次大会が1日の開催となったため、登録料予算が減り残額が多くなった事をご報告します。

ロータリー財団委員長

平 義孝

昨年7月に2,630地区財団セミナーに参加しました。セミナーの話は2012年13年度は未来の夢計画を実行いたします。それは、各クラブで地元で奉仕活動を計画し2630地区財団本部に書面で申請し決定したら2014年～15年度に実行することになります。2012～13年度財団委員長が申請して副委員長雨が次年度委員長になって奉仕活動を実行することとなりました。

今年度は財団に集った寄付金の半額を東日本災害復興に寄附されます。後の半額は全世界のポリオ募金になります。

西RCは財団に寄付金一人毎月財団箱に1,000円以上、年一人12,000円お願いしています。ご協力をお願いいたします。

昨年の11月は財回月間でした。前ガバナー補佐を伊藤松寿様に卓話をお願いし、会員の皆様に財団に理解を求めました。

《お願い》

ロータリーカードに入会してカード利用をお願いします。

お買物された金額の0.3%がロータリー財団に寄附されます。財団本部からご協力下さい。



米山奨学副委員長

堺 和信

委員長の村瀬勝彦さんが、病気療養中ですので副委員長の堺が代行を務めさせていただいております。



す。委員として、狭土貞吉さん、垣内秀文さんがみえます。

基本方針は、「米山奨学事業について会員に理解を求め、支援に協力する」です。9月30日の担当例会では、米山奨学事業に対しご理解をいただき更なるご寄付をお願いいたしたく、地区の米山奨学委員会委員長の内藤篤さんをお招きし、米山奨学事業推進の根幹をなす寄付金の現状や、2630地区と高山西ロータリークラブの累積寄付額、米山奨学事業の理念と「遠景」としての社会奉仕活動であることをご説明いただきました。

後期は、皆様方から寄付を募りに御声を掛けさせていただきますので、よろしくご協力をお願いいたします。

<ニコニコボックス>

●斎藤 章さん

本日のクラブアッセンブリー、残りの委員会の委員長さん、宜しくお願い申し上げます。

●井辺 一章さん

本日は2回目のクラブアッセンブリーです。1回目の9委員会の委員長の皆様ありがとうございました。2回目は8委員会です。よろしく宜しくお願いいたします。

●田中 正躬さん、洞口 良一さん

今日のニコニコは、かつて見た事もない様な少ない数です。先日のクラブアッセンブリーでのコメントが皆さんの意欲をそいでしまったのでしょうか?!お詫びとして当番二人で…。来週はよろしくお祈りします!